

街のソーシャル美術館「MIZUHO BANK GALLERY」オープンについて ～ ヘラルボニーとの共創 ～

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：坂井 辰史）と株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、株式会社ヘラルボニー（代表取締役：松田 崇弥、以下「ヘラルボニー」）と共創し、知的障がいのあるアーティストのアート作品を丸の内の建設現場の仮囲いに活用した街のソーシャル美術館「MIZUHO BANK GALLERY」を本日よりオープンします。

ヘラルボニーは、「全日本仮囲いアートミュージアム」(*)を通じ、知的障がいのあるアーティストが描くアート作品を建設現場の仮囲い等のプロダクトに落とし込み、社会へ提案するイノベティブな取り組みを推進しています。〈みずほ〉は、優れた技術やアイデアによるソーシャルイノベーションを支援しており、ヘラルボニーの取り組みの社会的意義に共鳴し、このたび〈みずほ〉が新社屋を建設している工事現場（丸の内1丁目3番3号）の仮囲いを活用した街のソーシャル美術館を創出することとしました。

〈みずほ〉とヘラルボニーは、知的障がいのあるアーティストの優れた才能や能力を発掘し、そのアート作品を展示することで、芸術活動の活躍の場を創出するとともに、優れた芸術作品が社会的・経済的にもより評価されることで、アーティスト自身が自立した社会生活を営めるよう支援していきます。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みについて戦略との一体性を高め、5カ年経営計画の行動軸である「オープン&コネクト」のもと、外部パートナーとの連携により、イノベーション加速に向けて積極的に取り組み、経済・産業・社会の持続的な発展に貢献していきます。

※「全日本仮囲いアートミュージアム」:

建設・住宅を守る「仮囲い」を、新発見ができる期間限定の「ミュージアム」と捉え直す地域活性型のアート・プロジェクト。

【街のソーシャル美術館「MIZUHO BANK GALLERY」】



以上